

～小樽の観光振興に向けて私たちの出来ること～

2018年 新春シンポジウム

「小樽人の小樽ファンによる世界のための観光地」

小樽にとってかけがえのない観光を、
そろそろ小樽が一つになって仕切り直しをしましょう。

2018年 **1月27日**[土]

時間 **15:00～16:50**

会場 **小樽経済センター 4階ホール**
小樽市稲穂2丁目22番1号 小樽経済センター

小樽観光元年といわれた1986(昭和61)年から数えて、2018年は33年目に差し掛かります。小樽運河周辺と堺町を核として既に小樽は全国区の観光地に定着したばかりか、インバウンドも多数訪れる国際観光地としても発展の領域を広げています。

しかし反省点も山積みであることは論を待ちません。なかでも最大の反省は、小樽自身一つになって観光ビジョンを推進する体制にないことです。

この大きな反省点を共有して、我々共催6団体は平成25年以来、連絡会議を開催し、各団体の情報交換をしつつ、互いの協力体制を築いてきました。

小樽のこうした体制づくりに、まるで合わせたかのように、国(観光庁)は地方創生の一環として全国の観光地にDMOをつくることを奨励しています。

小樽観光にとって、まさに渡りに船と言え、千載一遇の好機ととらえることができます。

DMO(Destination Marketing & Management Organization)とは簡単にいうと、地域が一つになって観光振興を目指す新たな組織形態をつくり、国の観光立国と同一歩調をとることにより、効率的な補助金支出を図ろうとするものです。

主催

NPO法人 OBM

小樽市稲穂2丁目22番1号 小樽経済センター 6F
TEL(0134)24-2161

共催

小樽市、小樽商工会議所、一般社団法人小樽観光協会、
一般社団法人小樽物産協会、国立大学法人小樽商科大学

第1部 講演

● 問題提起

～小樽をこんな観光地に～ (30分)

NPO法人 OBM 理事 石井 伸和



● DMO提案

～今こそDMOを～ (15分)

NPO法人 OBM 理事長 伊藤 正明



～休憩 5分～

第2部 パネルディスカッション(60分)

～観光振興に向けて何ができる？ DMOを視野に入れて～



小樽市産業港湾部
部長
中野 弘章氏



小樽商工会議所
副会頭
中野 豊氏



一般社団法人小樽観光協会
副会長
岡田 浩司氏



一般社団法人小樽物産協会
副会長
阿部 恭久氏



小樽商科大学グローバル
戦略推進センター 准教授
北川 泰治郎氏

コーディネーター

NPO法人 OBM
理事長

伊藤 正明